

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	静岡県内地域社会と大学を結ぶ地域間交流による SDGs 活動の展開				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	湖中 真哉
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	湖中 真哉

講演題目	静岡県内地域社会と大学を結ぶ地域間交流による SDGs 活動の展開
------	-----------------------------------

**研究の目的、成果及び今後の展望**

本研究は、SDGs に関連する諸課題への取組を通じて、本学法人第 2 期中期計画「全学的な重点課題 3」に記載されている「地域社会に貢献するグローバルな人材を育成する」ことの達成に貢献することを目的とする。令和 3 年度は、海外との交流を含めてフィールドワークや対面的な活動の展開を予定していたが、新型コロナウイルス感染症デルタ株、オミクロン株の相次ぐ流行により、おもに静岡県内の SDGs に取り組む企業を対象としたオンラインによる活動に切り替えて研究を継続した。そのおもな成果は以下の通りである。

(1) 静岡県内企業を対象としたフィールドワークによる学外アクターとの交流

研究代表者の担当授業において、しずおか焼津信用金庫の協力のもと、SDGs 活動にとりくむ県内企業 14 社を対象として、本学学生 59 名がオンラインと対面によるフィールドワークを実施した。授業の様子は『静岡新聞』等の各紙でも報道された。最終成果は、成果報告会を開催してプレゼンテーションすると同時に、その報告会の様子を動画で中継、録画し、調査に協力して下さった 12 社の関係者に閲覧していただいた。また、受講生がフィールドワークの成果をまとめて県内企業 12 社による SDGs 活動のリーフレットを作成した。このリーフレットは、しずおか焼津信用金庫のウェブサイトで開催される予定である。学生にとっては県内の企業と直接交流する機会になり、キャリア教育として意味がある試みとなった。また、参加企業に対する事後アンケートにおいても、満足度は 100%で、SDGs に対する良い意味での社内での意識の変化が感じられたという感想が 83%を占めていた。来年度も引き続きしずおか焼津信用金庫との協力関係のもと取組を継続していくことを計画している。

(2) SDGs カードゲーム作成による学外アクター（県内企業、高校生）との交流

研究代表者の担当ゼミの活動として、オンラインで実施する SDGs カードゲームをゼミ生が作成し、静岡ガスエネルギーショールームが 11 月 13 日に開催した SDGs Day のイベントで一般参加者とプレイした。また、1 月 30 日に開催されたオンラインイベント SDGs 成果発表会では、静岡県内の高校生と一緒にこのゲームをプレイした。

(3) SDGs にかかわる理論的な研究の展開

SDGs にかかわる理論的な研究を展開させた結果、研究代表者が国際開発学会の「開発のレジリエンスと SDGs」研究部会から招待を受けた。その成果を 6 月 18 日に開催される同学会春季大会のラウンドテーブル「移動する人々のレジリエンスと SDG」で報告する予定である。